

オンライン研究会「化学切手と化学史」:これまでのまとめ

2024年9月26日 新井和孝

化学史学会で昨年始まったオンライン研究会事業を活用して、化学切手同好会会員が中心のオンライン研究会「化学切手と化学史」が昨年1月スタートした。開催頻度など試行錯誤しながら現在も続けている。なお本事業の研究会(読書会)は、その後増えて現在は5件である。

以下の2点は昨年の年報 p.4 でも説明した。「Zoom を利用したオンライン研究会の企画は①会員間のつながりを広げ深める, ②会員の研究活動を支援する, ③化学史研究者の後継者を育成する, などを目指しています。参加希望者は、学会ホームページにある研究会の開催案内の「参加申込フォーム」で申し込みます。」(化学史学会オンライン研究会企画者: 田中浩朗さん)

「オンライン研究会「化学切手と化学史」では、化学(科学)切手などを介し、化学(科学)の歴史に係わる話をします。各回の話題提供者に、先ず30分程その回のテーマについて話してもらい、その後は、話題提供者への質問など、参加者同士の雑談会になってもよい、仲間の環が広がる気軽な集まり、と考えています。」(「化学切手と化学史」企画者: 新井)

昨年1月の第1回以降、これまで8回開催した。次回第9回は、化学切手同好会の定例会と同日の開催で、切手同好会会員からみると一般公開プログラム部分になる。

第1回 2023年1月29日(日)15:00~16:30 参加 10名

話題提供 齊藤正巳さん「チェルノブイリ原発事故から(35年)」 ← 一昨年の年報参照

第2回 2023年3月12日(日)15:00~16:30 参加 9名

話題提供 後藤幸平さん「合成繊維の切手からの企業研究者の想い」

第3回 2023年5月14日(日)15:00~16:10 参加 6名

話題提供 伊藤良一さん『「化学の切手 一切手で見える化学史と化学」展から25年』

第4回 2023年9月17日(日)15:00~16:30 参加 12名

話題提供 安部浩司さん「科学切手の世界 一授業のネタにでもなればー」

←以上 第2, 第3, 第4回については、昨年の年報参照

第5回 2023年11月26日(日)13:00~14:30 参加 13名

話題提供 川井正雄さん「故中島路可先生の思い出 化学研究・化学切手・化学史への導き」
恩師との深いつながり、長いお付き合いの紹介。初めて知った事実も多く大変興味深かった。

第6回 2024年1月29日(日) 15:00~16:30 参加 9名

話題提供 新井和孝「自分の関わった化学遺産と切手の話」

アルコール専売制度10周年記念切手(化学知識普及運動)の装置図などを詳しく紹介した。

第7回 2024年5月26日(日) 15:00~16:30 参加 8名

話題提供 齊藤正巳さん「小説家 阿刀田 高の理学の世界」

ユニークな話題であった。開催後の反響が多方面から多数あった。

第8回 2024年7月21日(日) 15:00~16:30 参加 11名

話題提供 渡部智博さん(日本化学会化学用語検討委員会委員)「時代とともに変わってきた化学用語」
同好会会員以外からの話題提供は初。参加者やテーマの拡大など後に繋がった。

<次回予定>

第9回 2024年11月24日(日)13:00~14:30(最大)

話題提供 齊藤正巳さん『「切手の元素周期表」作成から5年』

作成代表者の齊藤さんに先ず概要と苦労話をして頂きます。 今後は、共同作成者の皆さんにも話してもらう予定です。

以上